

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）  
分担研究報告書

ろう・難聴児の言語力向上に効果的な支援方法の確立に向けた研究

研究分担者

河崎佳子 神戸大学 人間発達環境学研究科 教授

**研究要旨**

聴覚活用と手話言語獲得をろう・難聴児支援の両輪と捉える立場から、乳幼児期から手話言語（日本手話）を獲得・習得して育つ子どもの真の言語力を明らかにするために、WISC-V知能検査を日本手話で実施する方法を提案する。その準備として、まず成人ろう者を対象にWAIS-IV知能検査を実施し、そのプロセスと結果を詳細に検討する。これをWISCの施行に活かすことで、ろう・難聴児に対する適切な教示方法と結果分析のあり方を提案する。

**A. 研究目的**

聴覚活用と手話言語獲得をろう・難聴児支援の両輪と捉える立場から、乳幼児期から家族と共に手話言語のあふれる環境に触れ、日本手話を獲得・習得して育つ子どもたちの真の言語力を明らかにするために、WISC-V知能検査を日本手話で実施する方法を提案することを本研究の目的とする。

**B. 研究方法**

準備研究として、前年度に続き、成人ろう者2名を対象に日本手話通訳を介してWAIS-IV知能検査を実施し、そのプロセスと結果を詳細に検討しする。

- ・実施マニュアルにおける教示について、日本手話訳（映像）を作成
- ・手話通訳者との入念な打ち合わせ
- ・実施映像の分析と検討

（倫理面への配慮）

協力者の匿名性の維持、検査結果や実施映像に関する守秘義務について説明し、同意を得た。

**C. 研究結果**

検討中

**D. 考察**

検討中

**E. 結論**

準備研究の考察（2024年度日本特殊教育学会大会にて発表予定）をWISC-Vの施行に活かすことで、ろう・難聴児に対する適切な教示方法と結果分析のあり方を提案する。

**F. 研究発表**

1. 論文発表  
「該当なし」
2. 学会発表（発表誌名巻号・頁・発行年等も記入）「該当なし」

**G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）「該当なし」**

1. 特許取得
2. 実用新案登録
3. その他